

枚方京田辺環境施設組合
可燃ごみ広域処理施設整備事業に係る
環境影響評価方法書について



枚方京田辺環境施設組合

- 1 環境影響評価の手続
- 2 事業計画の概要
- 3 対象事業実施区域及びその周囲の概況
- 4 環境影響評価の項目
- 5 調査・予測・評価の手法
- 6 今後のスケジュール

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

環境影響評価の手続

京都府の環境影響評価手続

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

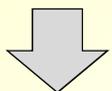
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

配慮書



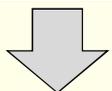
方法書

現況調査

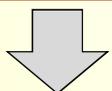
予測

評価

準備書



評価書



工事

事後調査

施設供用

【環境影響評価（環境アセスメント）とは】

事業の実施前に、その事業が環境にどのような影響を及ぼすかについて、事前に調査、予測及び評価を行い、その結果を公表して地域住民等の意見を聴いた上で適切な環境保全対策を検討し、よりよい事業計画を作り上げていくとともに、その事業の実施後の事後調査を行うための手続です。

本事業の環境影響評価手続

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

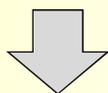
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

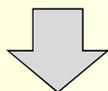
調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

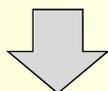
配慮書



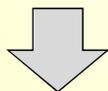
方法書



準備書



評価書



事後調査

配慮書

平成29年4月



- 計画地盤高さ、煙突高さの複数案
- 各案の環境影響
(大気質・騒音・振動・景観)の予測結果

今回は

方法書

- 環境影響評価項目の選定
- 環境影響評価の調査・予測・評価手法
- 説明会、アセス専門委員会の開催



環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

事業計画の概要

事業の背景・目的

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

既存施設の概要

穂谷川清掃工場
第3プラント

昭和63年3月竣工

200t/日



環境衛生センター
甘南備園焼却施設

昭和61年12月竣工

80t/16時間



枚方市

京田辺市

東部清掃工場



経年的な老朽化が進行

後継施設の計画が必要

事業の背景・目的

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

▶ ごみの広域処理

平成26年

各市で可燃ごみの広域処理を視野に入れた
「ごみ処理施設整備基本構想」を策定

ごみ処理を両市
共同で行うことに

平成28年

「枚方京田辺環境施設組合」設立

▶ 本事業の目的

枚方市と京田辺市の
可燃ごみ広域処理施設の整備

稼働目標
平成35年度

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

(1) 環境保全性

広域処理によるスケールメリットを最大限に生かして、信頼性の高い排ガス処理設備の導入や適切な運転管理の継続により環境保全に取り組む施設とする。

(2) 資源循環性

単なる焼却施設とするのではなく、ごみを原料としたエネルギーセンターとして位置付け、温室効果ガスの排出量等を削減して循環型社会や低炭素社会に寄与する施設とする。

(3) 安定稼働性

トラブルが少なく、維持管理が容易で長期の耐用性に優れた設備を導入する。また、ストックマネジメントの考え方を踏まえた施設の維持管理・予防保全の計画を策定し、長寿命化に留意した施設とする。

(4) 経済性

施設的设计・建設から運転・維持管理に至るまでライフサイクルコスト(LCC)の低減を意識した施設とする。

対象事業実施区域の位置

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

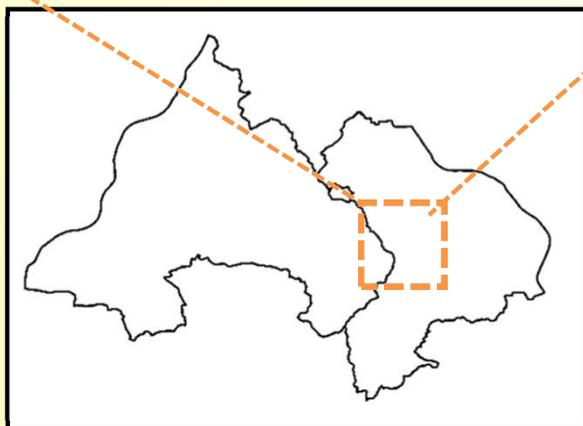
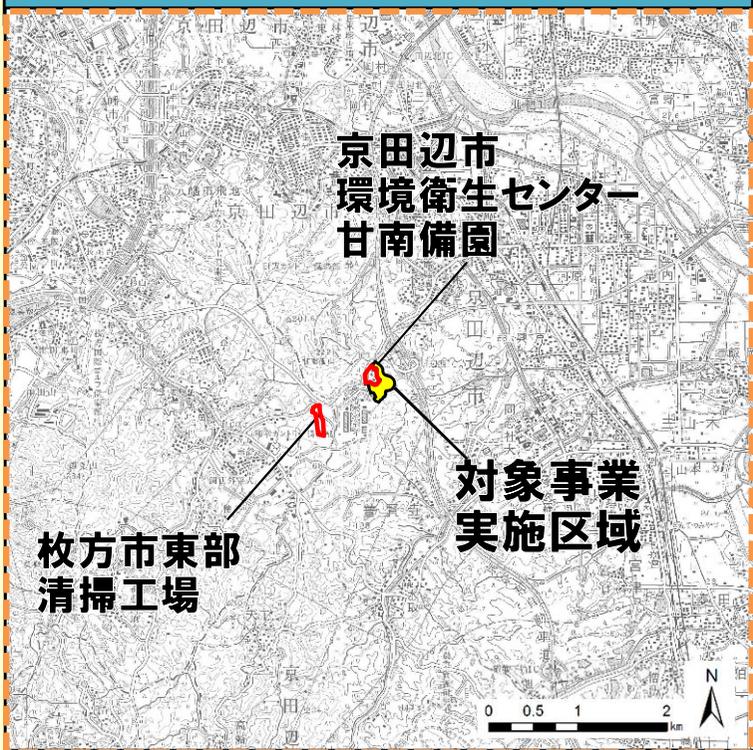
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

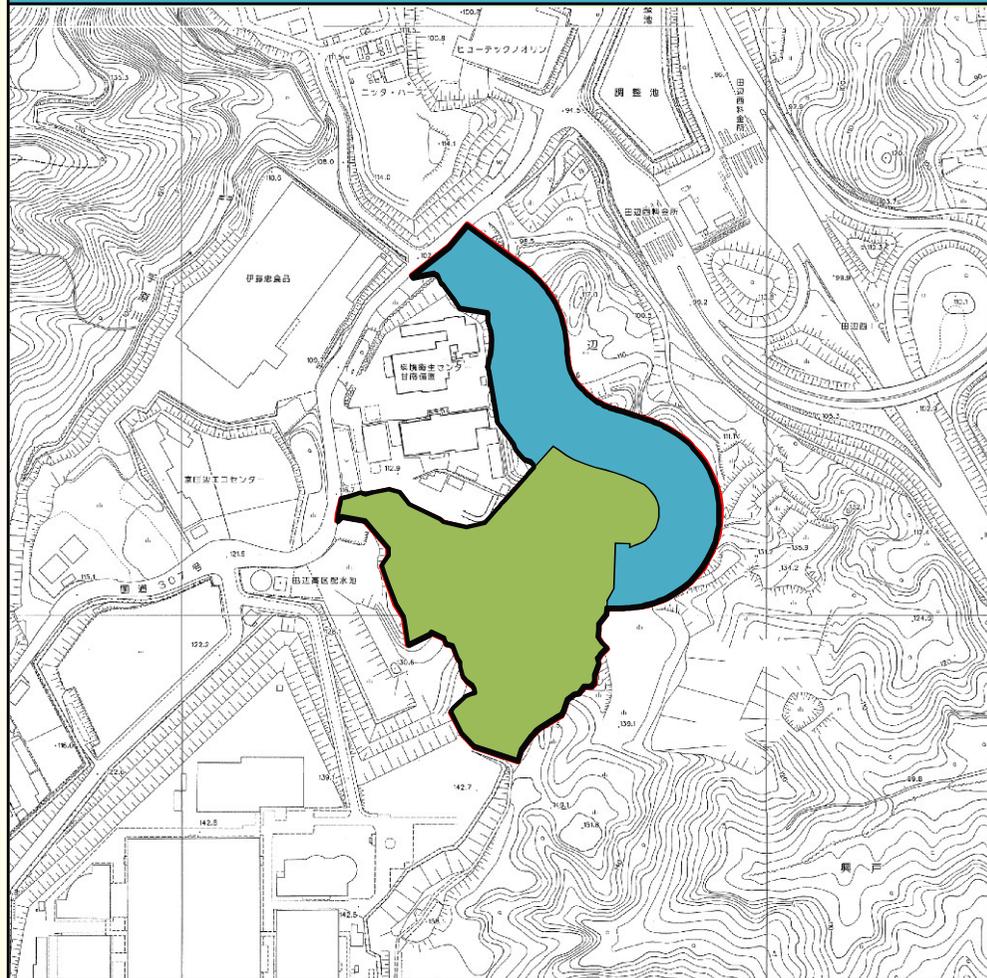
調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

位置図

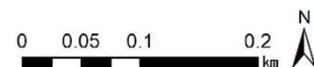


施設配置図



凡例

-  対象事業実施区域
-  処理施設工区
-  市道整備工区



対象事業実施区域の位置

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

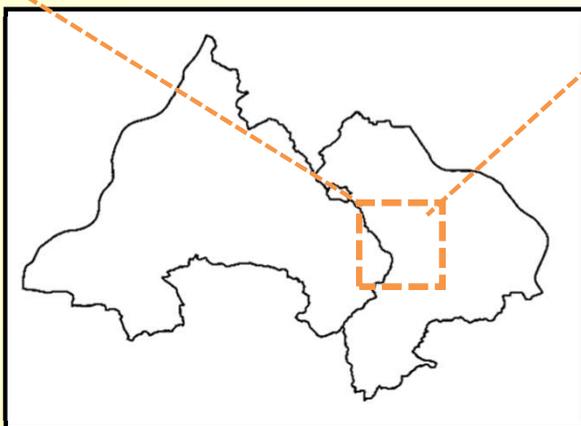
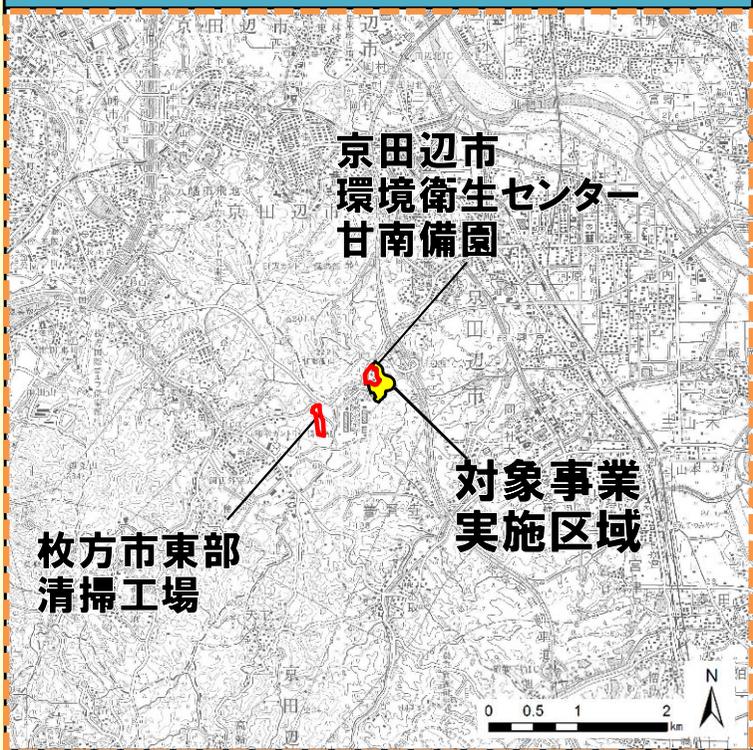
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

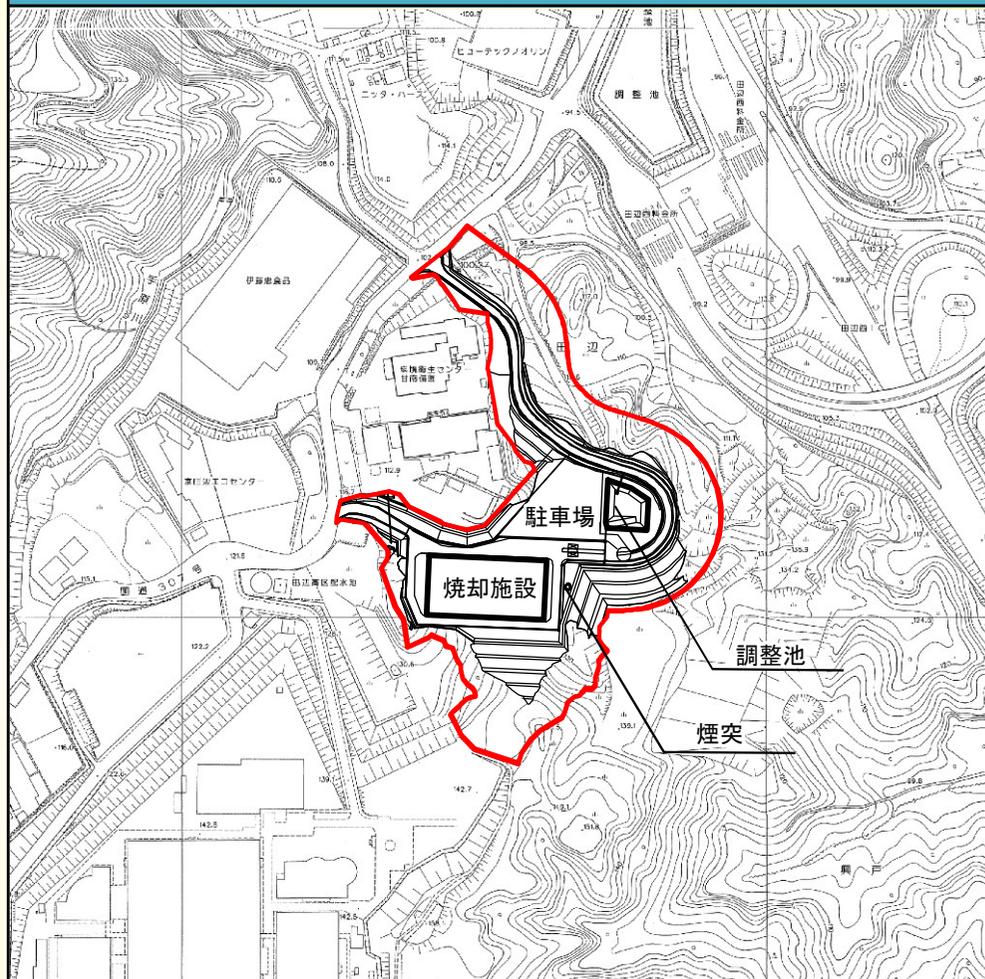
調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

位置図



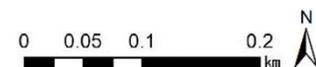
施設配置図



凡例

-  対象事業実施区域
-  処理施設工区
-  市道整備工区

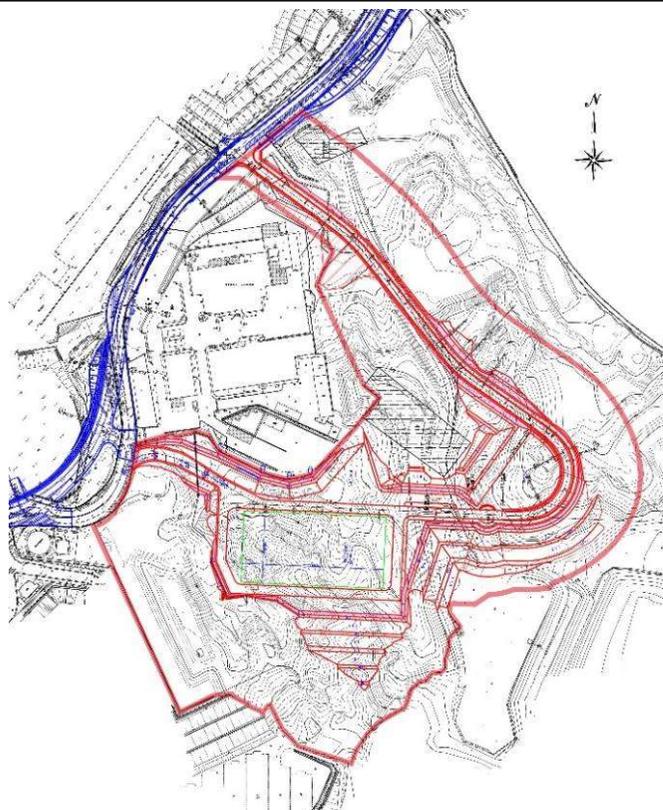
注. 施設の配置はイメージであり、今後の設計により変更する場合がある。



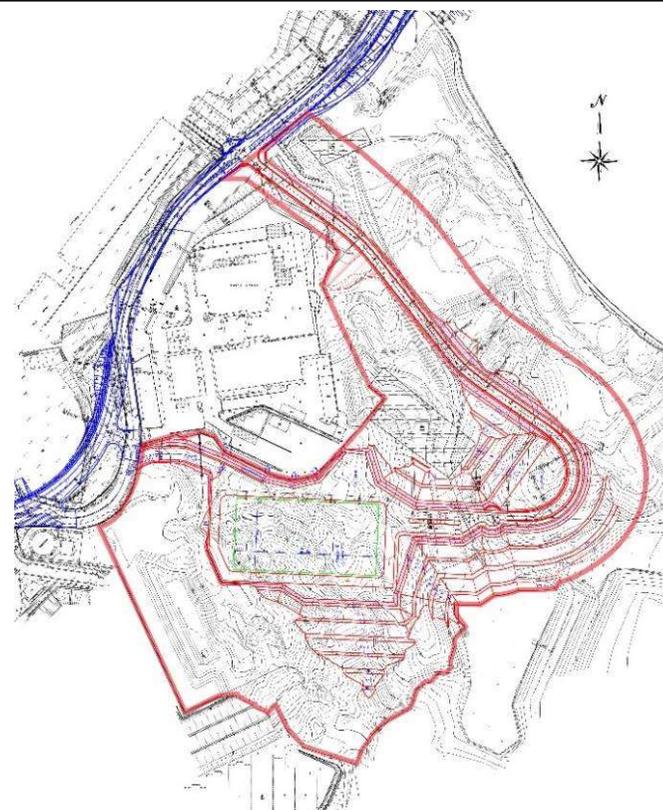
環境影響評価
の手續事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

施設等の配置

X案 計画地盤高さ120m



Y案 計画地盤高さ115m



建造物の構造

A案 煙突高さ100m

B案 煙突高さ59m

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

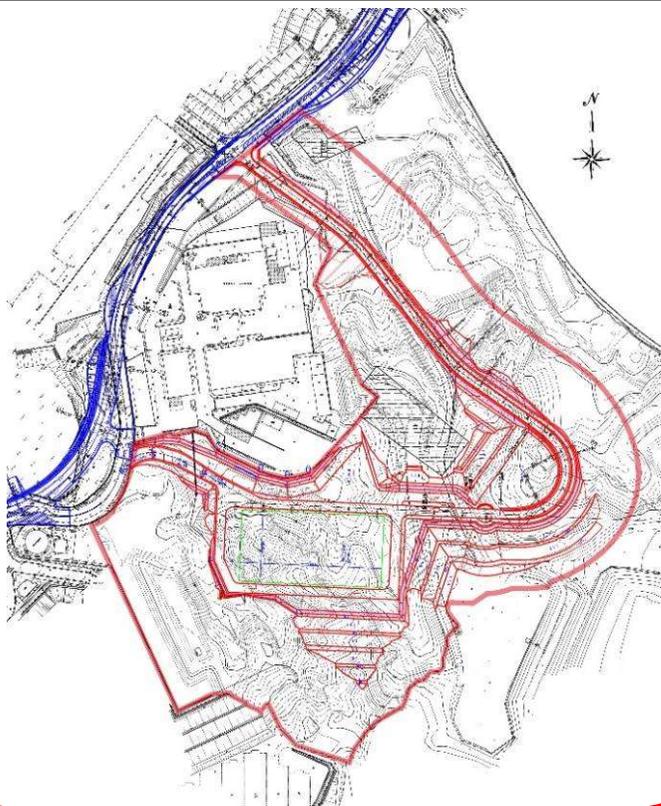
環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

施設等の配置

X案 計画地盤高さ120m



配慮書では

施設等の配置については**X案**
(計画地盤高さ120m)

建造物の構造については**A案**
(煙突高さ100m)

が環境影響の観点からは優位であると評価しました。

住民の皆様からの意見、知事等の意見を踏まえ、周辺住民の健康や環境の保全に万全を期し、安全・安心な施設とするために、以下のとおり設定しました。

建造物の構造

A案 煙突高さ100m

計画地盤高さ

120m

煙突高さ

100m

対象事業の概要

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

事業者	枚方京田辺環境施設組合
事業の種類	一般廃棄物焼却施設の設置
施設の規模 (処理能力)	168t/日 [7t/時間] × 1炉 ^{注1)} (可燃ごみ量(平常時) : 156t/日 災害廃棄物(可燃ごみ) : 12t/日)
位置	京都府京田辺市田辺ボケ谷、 甘南備台二丁目地内ほか
区域の面積	約60,200m ² (処理施設工区 : 約35,600m ² 市道整備工区 : 約24,600m ²)
計画地盤高さ	120m
煙突高さ	100m
処理方式	ストーカ式焼却炉 ^{注2)}
稼働開始	平成35年度(予定)

注1.現時点の想定であり、ごみの発生量の減少を踏まえて変更する場合がある。

注2.ストーカ式焼却炉は、ストーカ(火格子)の上に投入したごみを乾燥、燃焼、後燃焼工程に
順次移送させながら燃焼させる方法である。

主な環境保全目標（大気質）

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

関係法令による排出基準より厳しい自主基準値を設定しました。

項目	排出基準等	計画目標値
ばいじん (g/m ³ _N)	0.04 以下	0.01以下
塩化水素 (ppm)	約430 以下 (700 mg/m ³ _N 以下)	10 以下
硫黄酸化物 (ppm)	数百程度 (K値 = 2.34)	10 以下
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	20 以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ _N)	0.1 以下	0.05 以下
水銀 (μg/m ³ _N)	新設:30 以下 既設:50 以下 注)	検討中

注. 水銀に係る排出基準の施行日は、平成30年4月1日である。

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

<p>水質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水及びプラント排水ともに<u>公共用水域へは放流せず、下水道放流を行う</u>計画である。 ・プラント排水は、排水処理設備で適切な処理を行い、循環利用を図ることを基本とし、余剰なものについてのみ下水道放流する。 ・京田辺市公共下水道条例の排除基準のうち<u>排除下水量の最も多い区分に適用される基準に適合</u>するようにする。
<p>悪臭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭防止法の<u>規制基準を遵守する。</u> ・<u>最新の技術を採用する。</u>
<p>騒音・振動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音規制法及び振動規制法における工業地域の<u>規制基準を環境保全目標とする。</u> ・<u>最新の技術を採用する。</u>

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

【工事中】

- 低騒音・低振動工法及び低騒音・低振動建設機械の採用
- 工事用車両等の走行の分散
- 散水、仮囲い等の粉じん飛散防止対策
- 調整池等の雨水対策

【供用時】

- 煙突排出ガスの法令排出基準より厳しい自主基準の遵守
- 周辺生活環境への影響の低減、回避に努めた施設設計
- 騒音、振動、悪臭防止対策として、最新技術の採用
- プラント排水の循環利用

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

【工事中】

○降雨時における濁水対策

【供用時】

○動物・植物・生態系への影響の低減のための施設の配置、構造

○地域景観と調和した建物、煙突（色彩、デザイン）

○敷地内の積極的な緑化

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

【工事中】

- 発生土の再利用の推進
- 建設副産物の発生低減や再利用の推進
- 工事用車両の高負荷運転等の防止
- 適切な工程管理と工事用車両の走行の分散

【供用時】

- プラント排水の循環利用
- 廃棄物資源化の推進、適正処理
- 焼却熱を利用した発電と余剰電力の売却、熱源としての利用
- 廃棄物運搬車両の高負荷運転等の防止
- 搬入時間帯の検討による廃棄物運搬車両の走行の分散

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

項目/期間	1年目	2年目	3年目	4年目
造成工事				
土木造成				
プラント工事				
設計				
施設建設				

※平成35年度稼働予定

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概要

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

対象事業実施区域及び その周囲の概況

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価の項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

環境影響評価の項目

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価の項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

環境影響要因

工事中



- ・ 造成等の工事による一時的な影響
- ・ 建設機械の稼働
- ・ 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行
- ・ 雨水の排水

供用時



- ・ 地形改変後の土地及び工作物の存在
- ・ 施設の稼働
- ・ 施設利用車両の運行
- ・ 廃棄物の発生

選定項目

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価の項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

影響要因の区分 環境要素の区分		工事中				供用時			
		一時的な影響 造成等の工事による	建設機械の稼働	用いる車両の運行	資材及び機械の運搬に 雨水の排水	及び工作物の存在 地形改変後の土地	施設の稼働	施設利用車両の運行	廃棄物の発生
大気環境	大気質	●	●	●			●	●	
	騒音及び 超低周波音		●	●			●	●	
	振動		●	●			●	●	
	悪臭						●		
水環境	水質				●				
地質・ 土壌環境	地形及び地質	●							
	土壌汚染	●							
動物	重要な種・ 注目すべき生息地	●	●			●	●		
植物	重要な種及び群落	●				●			

選定項目

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価の項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

影響要因の区分 環境要素の区分		工事中					供用時			
		一時的な影響 造成等の工事による	建設機械の稼働	用いる車両の運行	資材及び機械の運搬に 雨水の排水	地形改変後の土地 及び工作物の存在	施設の稼働	施設利用車両の運行	廃棄物の発生	
生態系	地域を特徴づける生態系	●	●			●	●			
景観	主要な眺望地点・ 景観資源・眺望景観					●				
人と自然との 触れ合いの活動の場	人と自然との触れ 合いの活動の場			●		●	●	●		
廃棄物等	廃棄物	●							●	
	建設工事に伴う 副産物	●								
温室効果 ガス等	温室効果ガス		●	●			●	●		

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査・予測・評価の手法

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

【現地調査項目】

大気質

騒音・振動
超低周波音

悪臭

水質

動物・植物・
生態系

景観

人と自然との
触れ合いの
活動の場

【既存資料調査項目】

地質・土壌

【予測のみを行う項目】

廃棄物等

温室効果ガス
等

現地調査：環境大気質

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

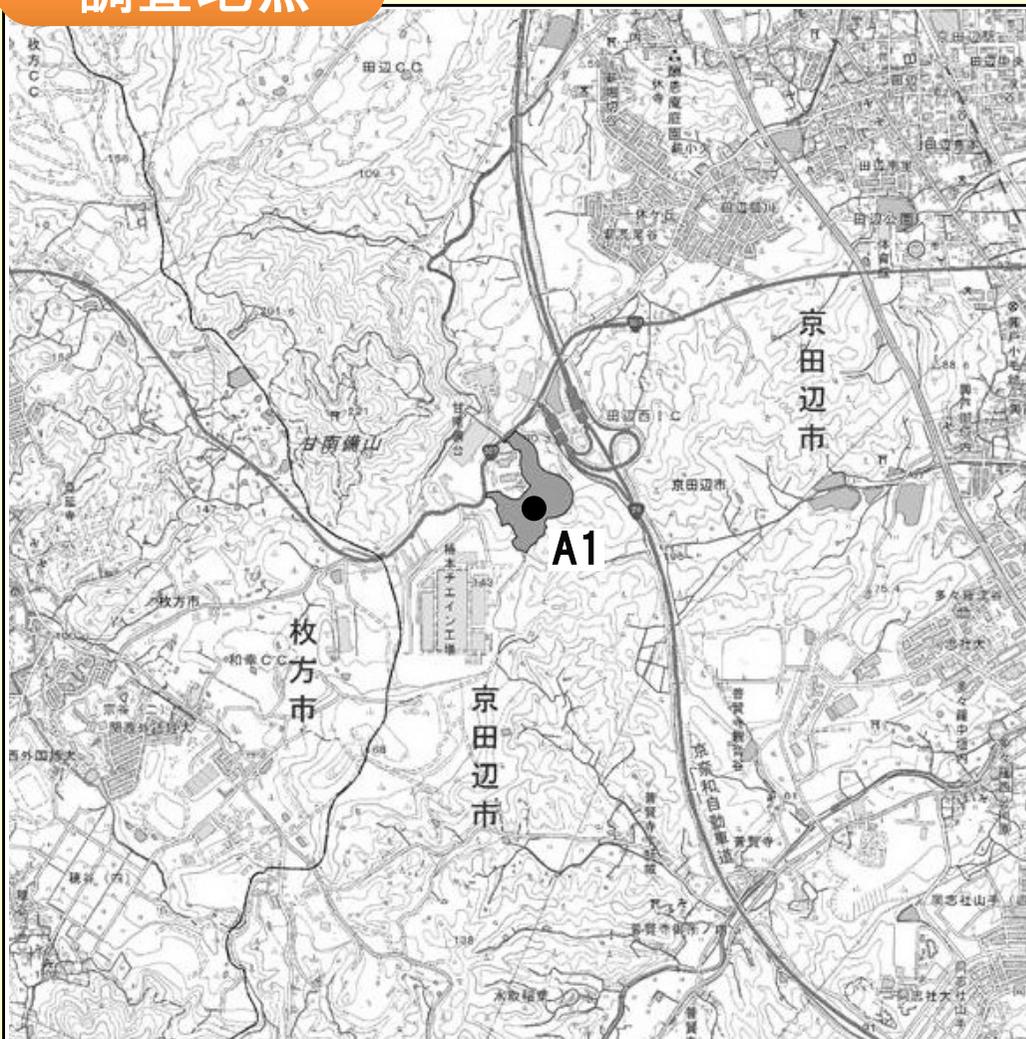
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

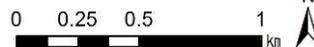
今後の
スケジュール

調査地点



凡例

- 対象事業実施区域
- 一般環境大気質調査地点 (A1)



調査内容

【対象事業実施区域】

A1	降下ばいじん
	4季各30日間
	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物
	通年
	ダイオキシン類、塩化水素、水銀
	4季各7日間



現地調査：環境大気質

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

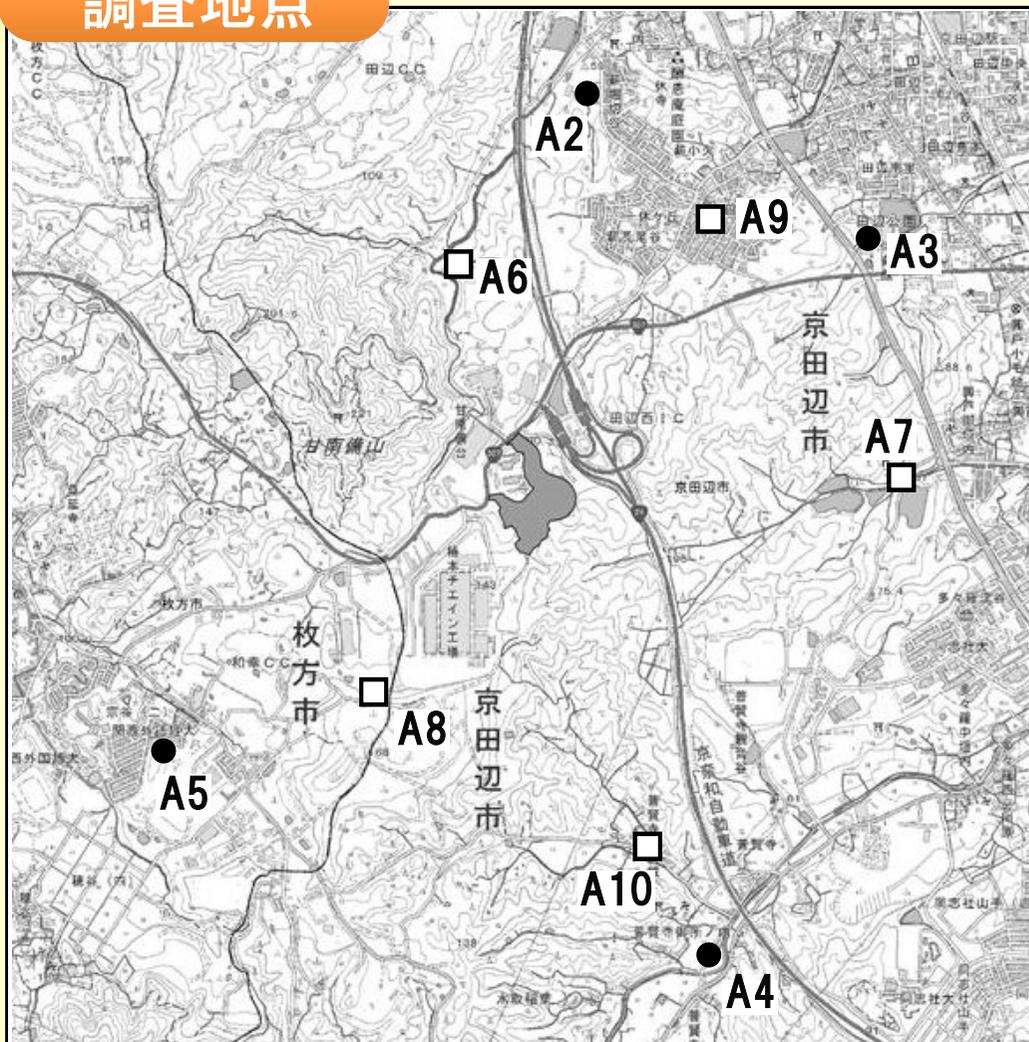
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

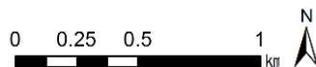
今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  一般環境大気質調査地点 (A2~A5)
-  窒素酸化物(サンプリング分析)調査地点 (A6~A10)



調査内容

【周辺4地点】

A2~
A5

二酸化硫黄、浮遊粒子状
物質、窒素酸化物、
ダイオキシン類、塩化水素、
水銀

4季各7日間

【サンプリング分析】

A6~
A10

窒素酸化物

4季各7日間

周辺4地点



現地調査：地上気象

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

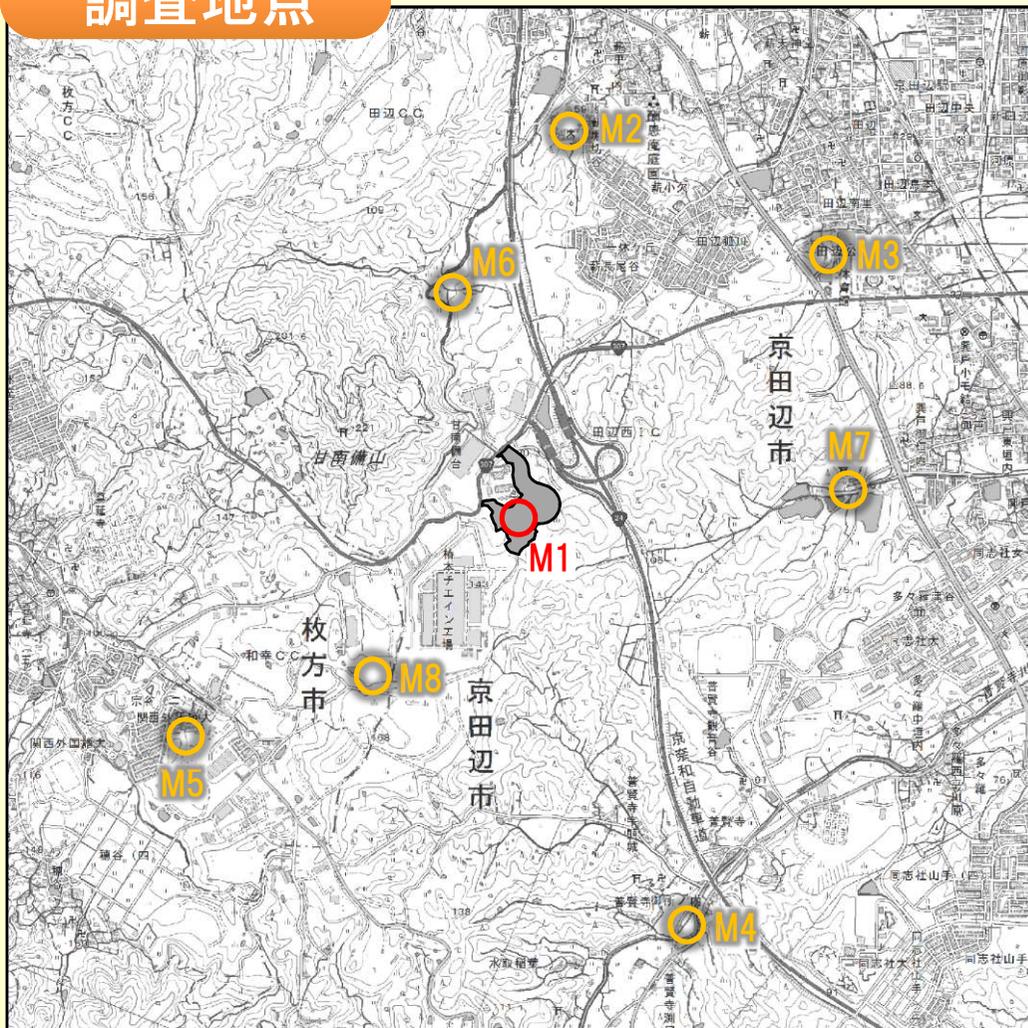
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

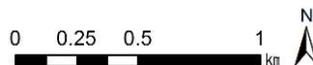
今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  地上気象調査地点(風向・風速、日射量、放射収支量、気温・湿度)(M1)
-  気象調査地点(風向・風速)(M2~M8)



調査内容

【地上気象】

M1

風向・風速、日射量、
放射収支量、気温・湿度

1年間連続

M2~
M8

風向・風速

4季各30日間



風向風速計

現地調査：高層気象

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

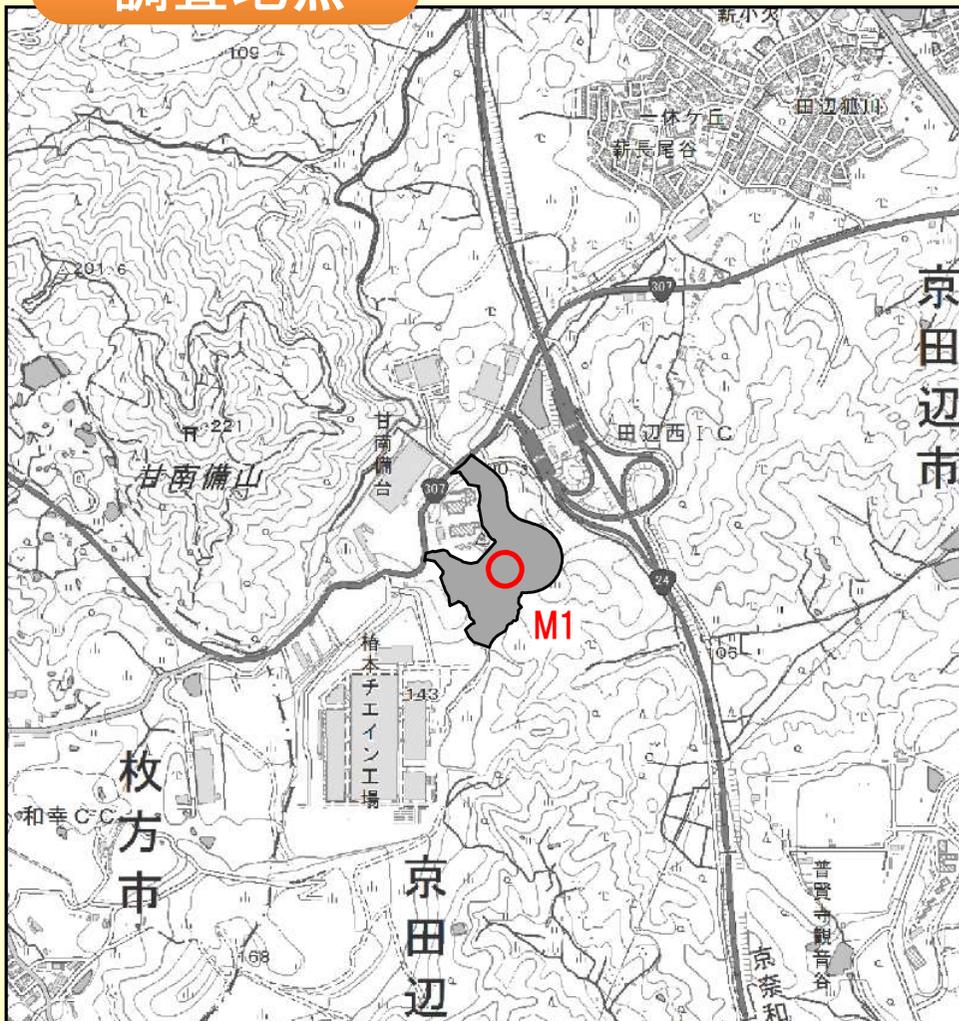
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査地点



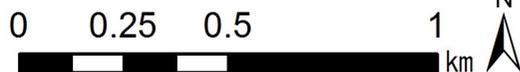
凡例



対象事業実施区域



高層気象調査地点(風向・風速、気温) (M1)



調査内容

【高層気象】

M1

風向・風速、気温

4季各7日間



環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  環境騒音・振動、超低周波音調査地点(N1)
道路交通騒音・振動、地盤卓越振動数、交通量、
走行速度調査地点(N2、N3)
-  関係車両の搬入路(国道307号)



調査内容

【環境騒音・振動、超低周波音】

N1

環境騒音・振動、
超低周波音

2回(秋季:平日、休日)

【道路交通騒音・振動】

N2、
N3

道路交通騒音・振動、
地盤卓越振動数、交通量、
走行速度

2回(秋季:平日、休日)



振動計



現地調査：悪臭

環境影響評価
の
手続

事業計画の
概要

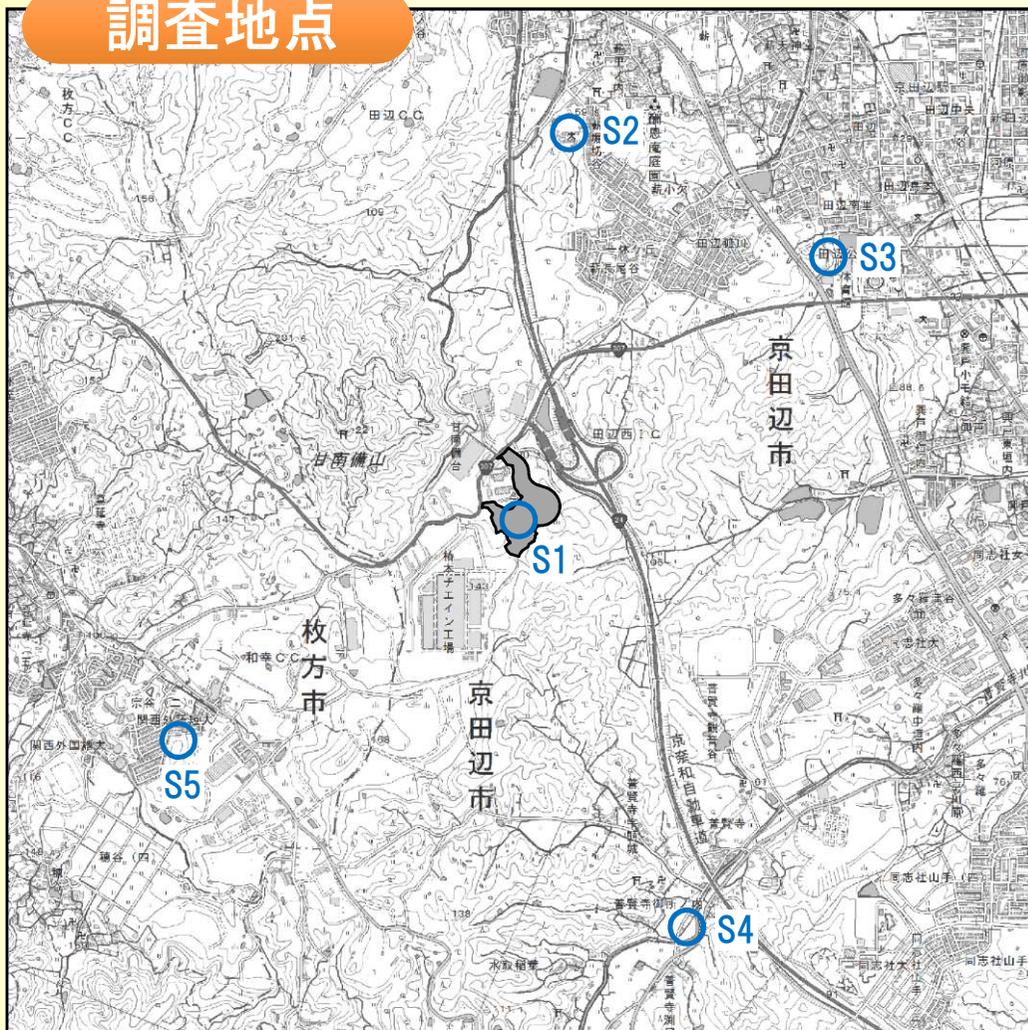
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

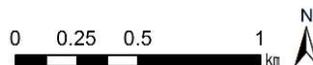
今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  悪臭調査地点 (S1~S5)
〔特定悪臭物質濃度：S1〕
〔臭気指数：S1~S5〕



調査内容

S1	特定悪臭物質濃度 (22物質)
S1~ S5	臭気指数、 気温、湿度、風向、風速、 天候
2回(夏季、冬季)	



↑ 特定悪臭物質

← 臭気指数

現地調査：水質

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

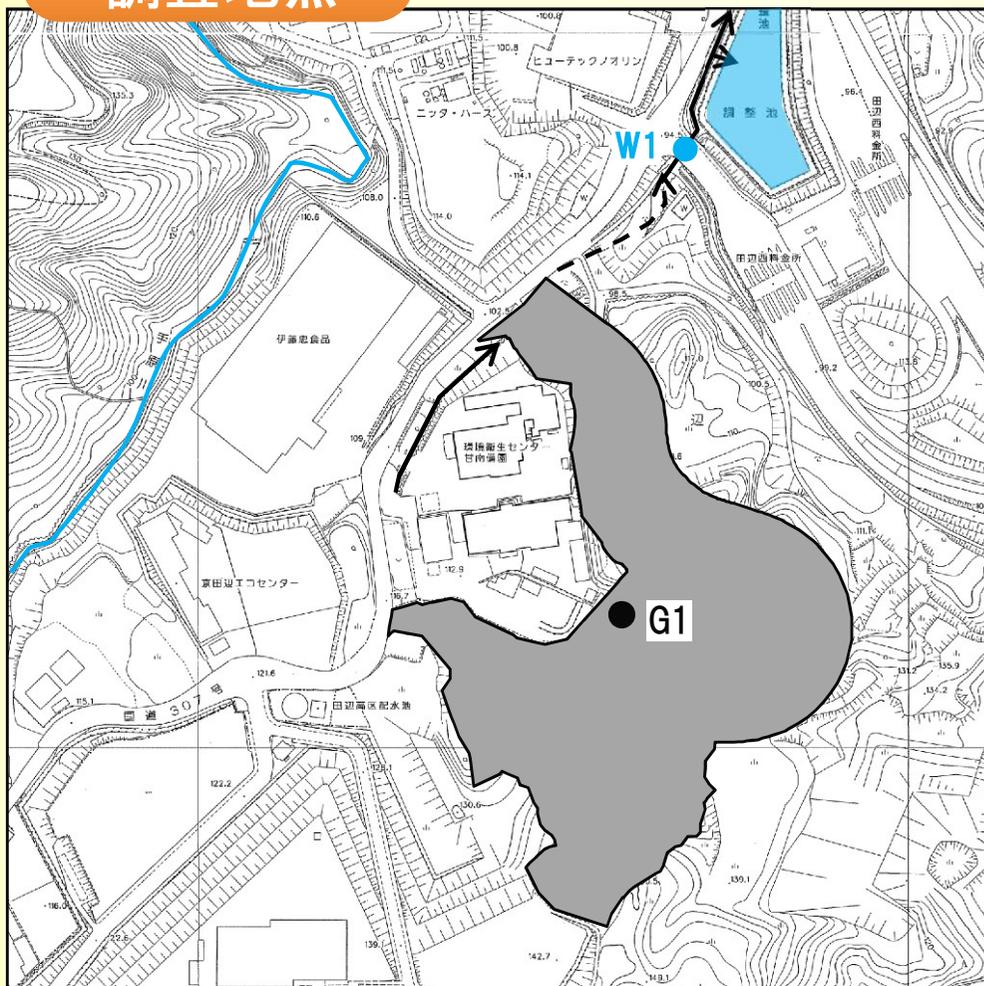
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  水質調査地点(SS、濁度、透視度、流量) (W1)
-  土壌沈降試験調査地点 (G1)
-  水路(開渠)  水路(暗渠)
-  河川  調整池



調査内容

【水質】

W1

降雨時の濁水(SS)、濁度、透視度、流量

降雨時2回

【土壌沈降試験】

G1

土壌の沈降特性

1回

水質調査→

↓土壌沈降
試験調査



環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

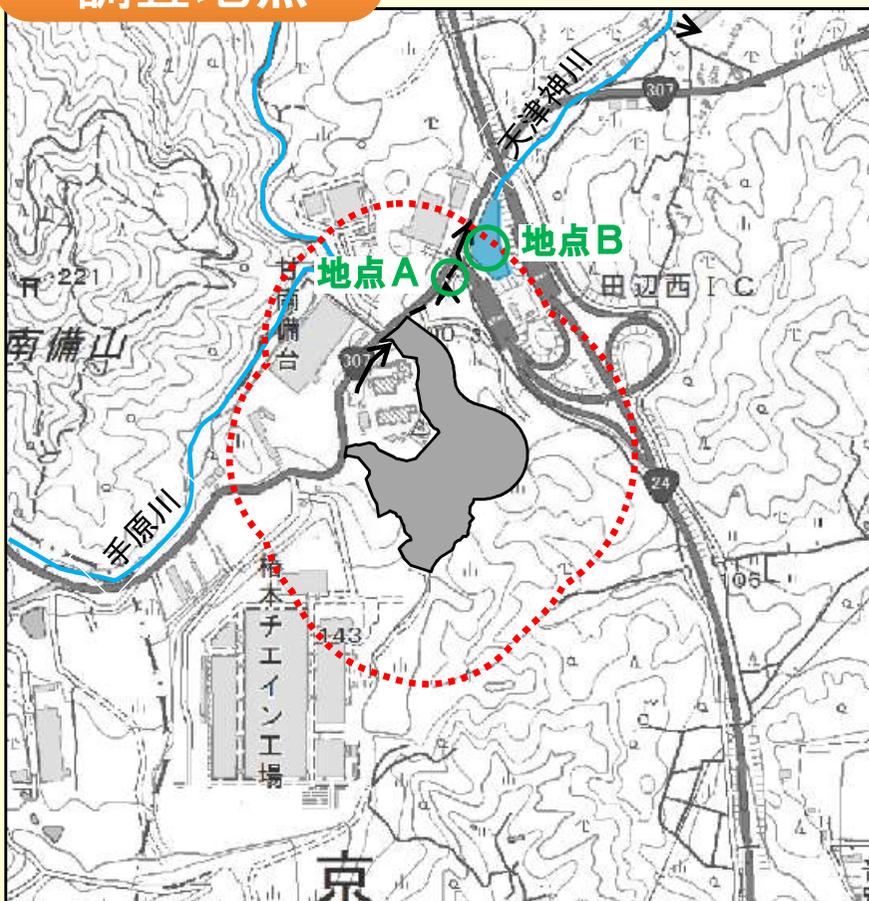
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査地点



凡例

- 対象事業実施区域
- 動物・植物・生態系調査範囲(周辺200m)
- 魚類、底生動物(地点A、地点B)
- 水路(開渠) 水路(暗渠)
- 河川 調整池



調査内容

【陸生動物、植物、生態系】

周辺
200m

哺乳類、鳥類、
両生類・は虫類、昆虫類

植物相、植生

各動物・植物の生態・繁殖期に
あわせた時期

【水生動物】

地点
A、B

魚類、底生動物

4季に各1回



植物調査



鳥類調査

環境影響評価
の手續

事業計画の
概要

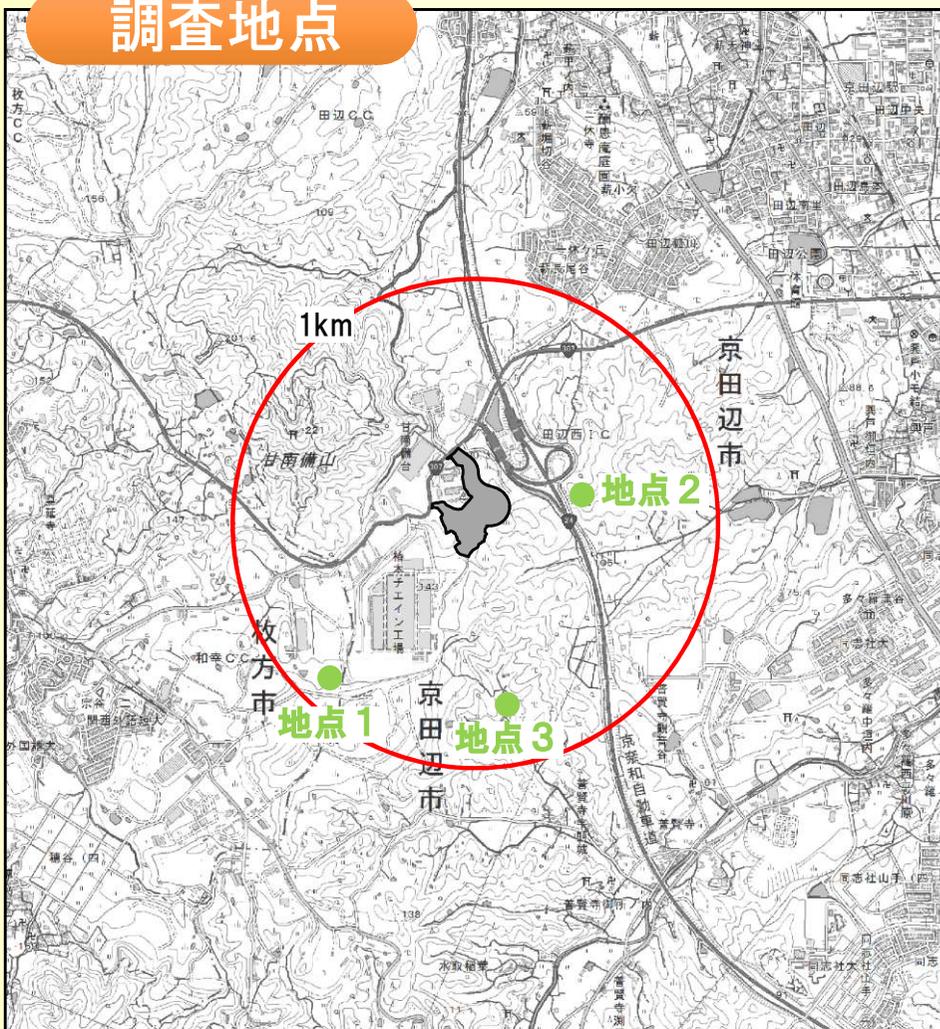
事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

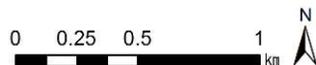
今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  猛禽類調査範囲(周辺1,000m)
-  猛禽類調査地点(地点1～地点3)



調査内容

【猛禽類】

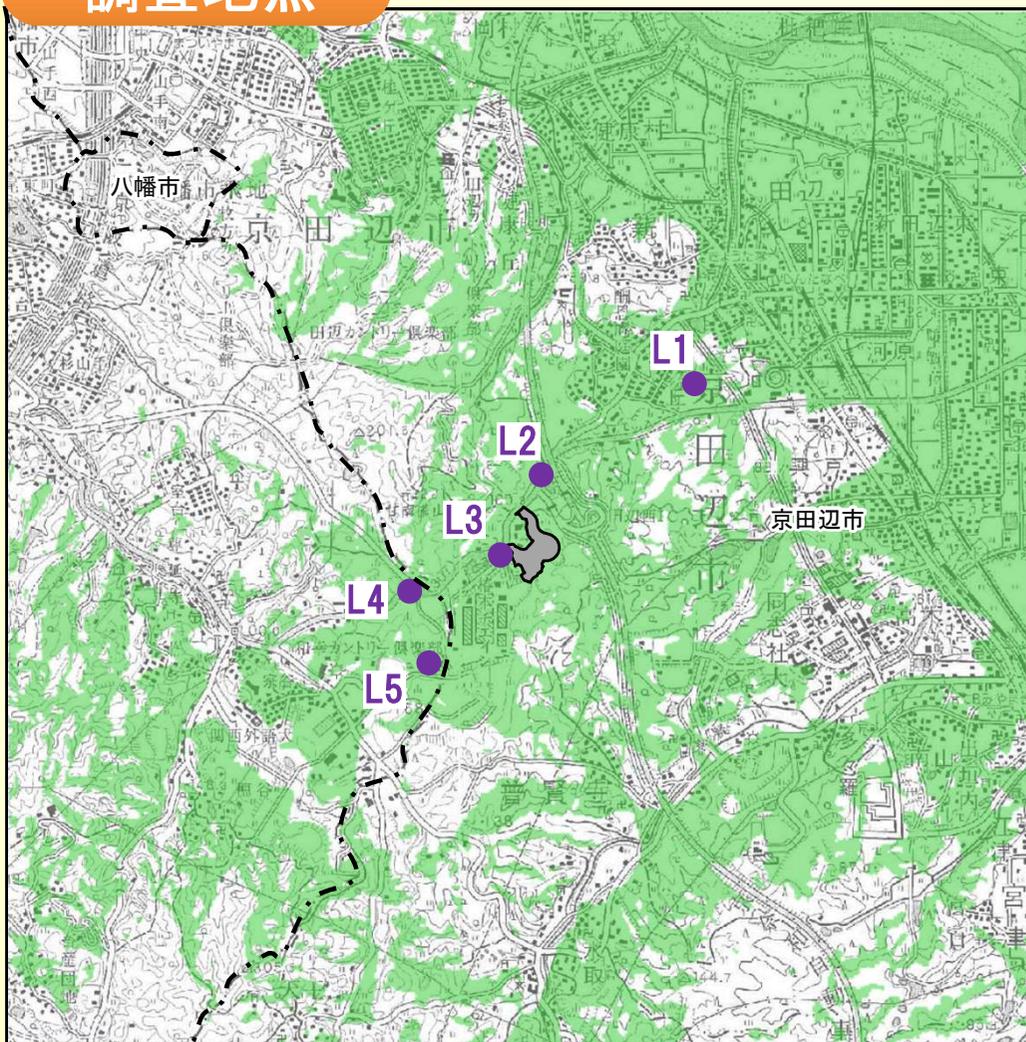
地点1～
地点3 猛禽類

繁殖期(2～8月)



環境影響評価
の手續事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  景観調査地点(L1~L5)
-  煙突の可視領域

0 0.5 1 2 km



調査内容

【景観】

L1~
L5 眺望景観の状況

2季(着葉季、落葉季)

* : 地形のみを考慮しており、建物や樹木による
遮へいは考慮していない。

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

調査地点



凡例

-  対象事業実施区域
-  人と自然との触れ合いの活動の場調査地点(P1、P2)



調査内容

【人と自然との触れ合いの活動の場】

P1、
P2

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、概況、利用者数、利用状況、利用環境等

2回(平日、休日)



◀ 東部
スポーツ公園



▲ 甘南備山

環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

予測の基本的な手法



A) 計算やシミュレーションなどによる方法

B) イメージ写真などによる視覚的な方法

C) 調査結果・事業計画・類似事例などに
基づいた方法

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

評価の手法

回避・低減

環境影響が、できる限り回避
又は低減されているか。
環境の保全についての配慮が
適正になされているか。

基準・目標との 比較

国又は京都府による環境保全の
ための基準又は目標との整合が
図られているか。



環境影響評価
の手続

事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール

今後のスケジュール

今後のスケジュール

環境影響評価
の手續

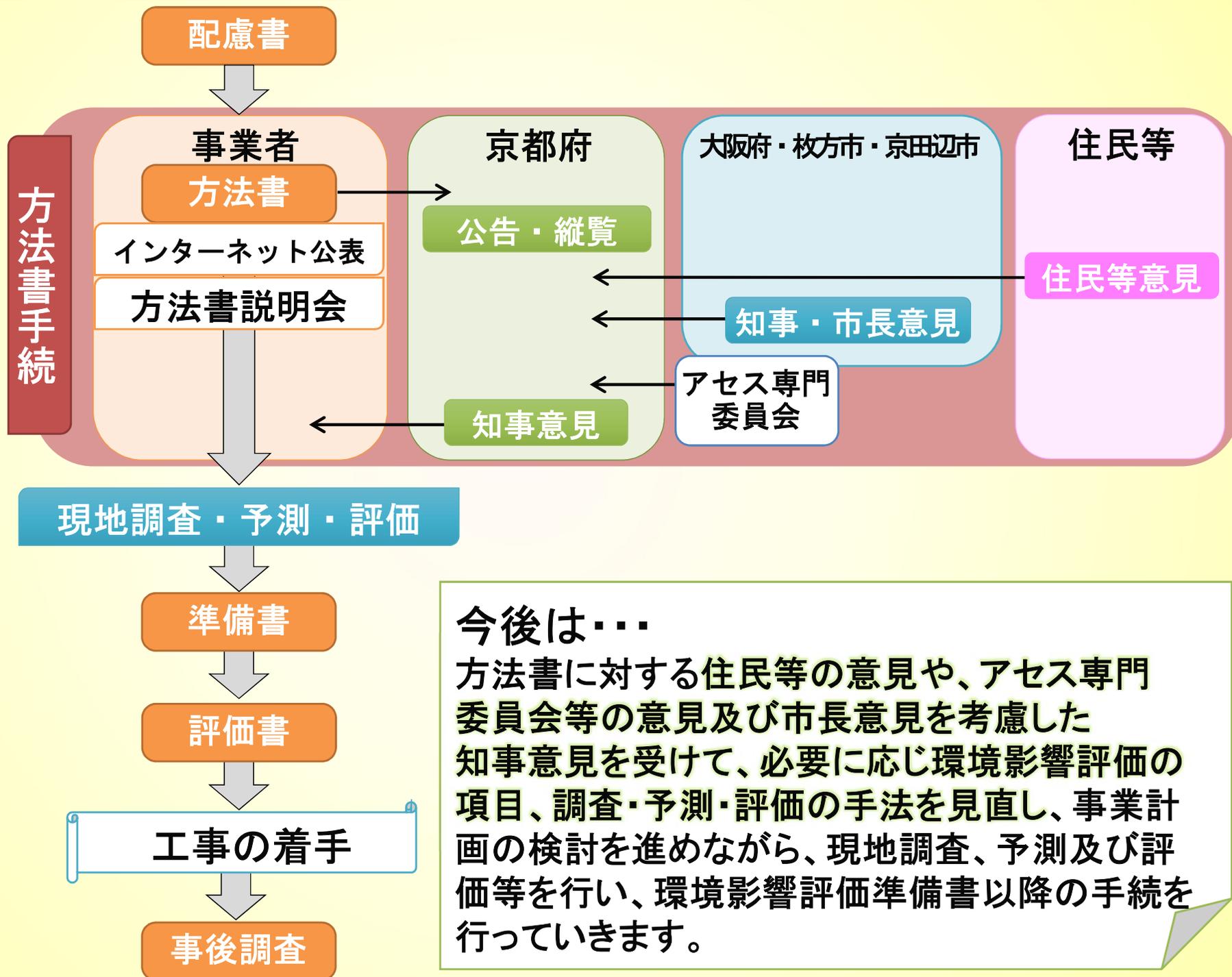
事業計画の
概要

事業実施区域
及び
周囲の概況

環境影響
評価項目

調査・予測
評価手法

今後の
スケジュール



今後は...

方法書に対する住民等の意見や、アセス専門委員会等の意見及び市長意見を考慮した知事意見を受けて、必要に応じ環境影響評価の項目、調査・予測・評価の手法を見直し、事業計画の検討を進めながら、現地調査、予測及び評価等を行い、環境影響評価準備書以降の手續を行っていきます。

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

方法書の縦覧

縦覧期間

平成30年2月2日(金)～3月1日(木)

縦覧場所

・枚方京田辺環境施設組合

-京都府-

- ・京都府田辺総合庁舎総合案内・相談コーナー
- ・京田辺市経済環境部ごみ広域処理推進課
- ・京田辺市環境衛生センター甘南備園
- ・京都府環境部環境管理課(京都府庁内)
- ・京都府山城北保健所環境室(宇治市内)

-大阪府-

- ・枚方市行政資料コーナー(枚方市役所別館6階)
- ・枚方市環境部環境指導課(枚方市役所分室)
- ・枚方市役所津田支所
- ・枚方市役所香里ヶ丘支所
- ・枚方市役所北部支所

環境影響評価
の手続事業計画の
概要事業実施区域
及び
周囲の概況環境影響
評価項目調査・予測
評価手法今後の
スケジュール

意見書の提出

記載する事項

- ①意見書を提出しようとする者の氏名及び住所
(法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)
- ②意見書の提出の対象である対象事業の名称
- ③方法書の内容についての環境の保全及び創造の見地からの意見

提出期間

平成30年2月2日(金)～ 3月15日(木)

提出先

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府環境部 環境管理課 指導担当 TEL:075-414-4715

提出方法

書面の郵送、持参又は京都府のホームページから電子申請による提出

<http://www.pref.kyoto.jp/assessment/>

—本事業に関するお問い合わせ・連絡先—

枚方京田辺環境施設組合

〒573-0112 大阪府枚方市大字尊延寺2949番地
(枚方市東部清掃工場内)

TEL:072-896-1570 FAX:072-896-1571